

オール豊成のチームワークで『潤いと勢い』のある豊成小づくり

Connect



帯広市立豊成小学校
プロジェクト通信

メンター
メンティ

外国語

キャリア

体力向上

平成 30 年 6 月 1 8 日
NO.4 文責 小林

キャリア

環境を考える（機関庫の川と札内川の調査より）



1回目の観察。機関庫の川で水生生物の調査をしました。
ウチダザリガニやドジョウ、魚もたくさん捕れました！

6月7日（木）、3年生の川の学習がはじまりました。今回は、「課題対応能力」の育成を目指した取組で、機関庫の川や札内川を学習材に、調べたことや発見したことから課題を見だし、その解決に向けて自分達にできることを考えていきます。

1回目の観察では、機関庫の川は、たくさんの生物がいる豊かな川だということを実感することができました。子どもたちは、楽しみながら自然とかかわり、川やその周辺の環境に対して興味関心を抱くことで学習に対する意欲を高めていきます。

そして、2回目。14日（木）に行われた札内川の学習では、さらに一歩進み、水生生物の調査、水質調査、流速調査、透明度調査等専門的な調査を行い、根拠となる数値資料をもとに、札内川の環境をまとめていきます。（札内川は、とてもきれいな川だという結果が出ました。）

最後に3回目。再び機関庫の川に戻り、札内川と同様の調査を行い比較検証することで、機関庫

の川も札内川同様「とてもきれいな川」だということがわかりました。自分達にとって、最も身近である機関庫の川が、とても恵まれた環境にあり、誇るべき地域の宝であることを実感してくれば・・・と思います。

2学期は、「この環境を維持するためにはどうすれば良いか？」「どうしてホタルがいなくなったのか？」等各自の課題に沿って、仮説・検証を行いながら、学習をまとめ、環境改善・維持のために自分達にできることを実践したり、地域や行政に発信したりする活動へと繋げていく予定です。

豊成小学校のように、校地内に川が流れ、自然を直に感じることができる学校は、なかなかありません。もちろん、準備や活動は、先生方の負担を増やし、時数も圧迫していきます。しかし、それに見合うだけの経験を子どもたちは積み、成長しているのも事実です。次は、この経験を他教科や日常生活にも「つなげて」考えることができるようになれば、最高ですね。



2回目の観察。札内川で水質・生物・流速等の調査を行いました。PH7、酸素濃度も十分！カゲロウ類等、きれいな水に棲む生物もたくさん確認できました！



3回目の観察。機関庫の川で札内川と同様の調査を行いました。札内川より多くの生物が確認され、豊かな自然環境が実証されました。